

本県では、循環器病対策を推進するため、令和4年3月に『香川県循環器病対策推進計画』、令和6年3月には『第2期香川県循環器病対策推進計画』を策定した。本計画は、健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法第11条に基づいており、令和6年度から11年度までの6年間を計画期間としている。

1 脳卒中関係

(1) 脳卒中の予防や正しい知識の普及啓発

①世界脳卒中デーに合わせた啓発の実施（令和7年10月29日（水））

世界脳卒中デーに合わせ、県と日本脳卒中協会香川県支部との合同で高松シンボルトワー外2箇所においてブルーライトアップを実施するとともに県の SNS 等を活用した広報を行った。

②脳卒中・心臓病 県民公開講座の開催 資料1-1・1-2

令和7年8月9日（土）に香川大学医学部附属病院の脳卒中・心臓病等総合支援センターに委託し、高松地域脳卒中・心臓病 県民公開講座「生涯大切にしたい脳と心臓」をレクザムホールにて開催した。また、令和7年10月12日（日）に、かがわ国際会議場でも、同様の県民公開講座である「いのちをまもる『脳と心臓』の話」を開催し、それぞれ131名・236名が参加した。

(2) 保健、医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実

①「令和6年度香川県脳卒中患者実態調査」の実施 資料2-1・2-2

県内の脳卒中患者の治療の実態を明らかにし、効果的な脳卒中对策を検討する基礎資料とすることを目的として、県内の脳卒中急性期治療に係る医療機関を対象にした実態調査を、香川大学に委託して実施した。

令和7年9月3日（水）開催の脳卒中部会において結果を報告し、脳卒中の急性期における医療体制においては、ある程度充実しているが、依然として地域差があることや薬剤の知見について脳卒中部会内でも共有が必要であることが議論された。

薬剤師の派遣については、薬剤師会へ連絡を行い、来年度の脳卒中部会ではオブザーバーとして派遣いただくことを検討・協議している。また、介護支援専門員など、多職種連携をする上で、循環器病の現状を知らない方に対しては、引き続き周知を行う。

②脳卒中に係る地域連携促進事業の実施

令和7年度中、香川大学医学部附属病院の脳卒中・心臓病等総合支援センターに委託し、脳卒中地域連携クリティカルパス及び脳卒中あんしん連携ノート等の活用・普及を図りながら、「高松・東讃地域シームレスケア研究会」を中心に、「香川シームレスケア研究会」や県内医療機関等と連携し、多職種参加による検討会や勉強会（講演会）等を開催している。

2 心疾患関係

(1) 心疾患の予防や正しい知識の普及啓発

①健康ハートの日に合わせた啓発の実施（令和7年8月10日（日））

健康ハートの日に合わせ、県と日本循環器協会香川県支部との合同で高松シンボルトワー、香川県立白鳥病院においてレッドライトアップを行った。さらに、県の SNS 等を活用して広報を行った。

②脳卒中・心臓病 県民公開講座の開催 資料 1-1・1-2

令和7年8月9日（土）に香川大学医学部附属病院の脳卒中・心臓病等総合支援センターに委託し、高松地域脳卒中・心臓病 県民公開講座「生涯大切にしたい脳と心臓」をレクザムホールにて開催した。また、令和7年10月12日（日）に、かがわ国際会議場でも、同様の県民公開講座である「いのちをまもる『脳と心臓』の話」を開催し、それぞれ131名・236名が参加した。

③香川健康づくり推進セミナーでの講演の実施（令和7年10月2日（木）） 資料 3

香川産業保健総合支援センター主催の香川健康づくり推進セミナーにおいて、県が講師依頼し、産業保健スタッフ、人事労務担当者等労働者の健康管理に携わる方を対象に働く人のための心疾患予防と健康づくりに関する講話を、サンメッセ香川にて、行った。

テーマ「働く人のための心疾患予防と救急対応の心得」

講 師 香川大学医学部附属病院 総合内科/

脳卒中・心臓病等総合支援センター 副センター長 石川 かおり 先生

④心臓リハビリテーションを受けられる施設の周知及び「冠動脈疾患の手引き」へのリハビリ施設の差し込み 資料 4

令和6年度心疾患部会の検討結果として、日本心臓リハビリテーション学会が公表している「心臓リハビリテーションを受けられる施設」を委員の職域、医療機関、住民の方へ発信が必要という意見があり、その取組みの一環として、香川県の HP で施設一覧を掲載するとともに、各医療機関へ同様の掲載を依頼する文書を送付して協力を求めた。

また、「冠動脈疾患の手引き」が令和7年度に改定予定であるため、心疾患部会委員及び香川県 急性心筋梗塞 地域連携協議会 会長である土井先生にもご協力いただきながら、手引きに日本心臓リハビリテーション学会の HP へアクセスできる QR コードを掲載し、幅広い媒体で「心臓リハビリテーションを受けられる施設」を県民の方が手軽に確認できるように取り組んでいる。

(2) 保健、医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実

①リハビリテーション等の取組みにおける提案についての協議を開催

（令和7年10月14日（火））

心疾患部会で、リハビリテーション等の取組みにおける提案について協議した。循環器病専門以外のかかりつけ医の見識不足や心臓リハビリテーションが実施できる施設間の情報共有不足、全国的にも回復期のリハビリができておらず連携が難しく回復期

病院との相談が重要になっていくこと、依然として心臓リハビリテーションの周知啓発不足などが課題であることが議論された。

そこで、多職種に向けた勉強会・研修会の中で心臓リハビリに関する内容を取り入れ、リハビリの職域の方たちへ勉強会への参加を促す。脳卒中・心臓病等総合支援センターの脳卒中分野でシームレスケア研修会を年に4回ほど開催しているため、そこへ「心疾患部門」を新規創設し、心臓リハビリ分野について勉強会・研修を行うことを予定している。

②心疾患に係る地域連携促進事業の実施

令和7年度中、香川大学医学部附属病院の脳卒中・心臓病等総合支援センターに委託し、県内中核病院等と連携し、多職種参加による検討会（協議会）や勉強会等を開催している。